

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における安定した医療提供体制の確保
主な取組	県立病院医師確保支援事業		対応する成果指標	医療施設従事医師数(離島)
施策の方向	・離島・へき地における安定した医療提供体制を確保するため、診療所等の施設整備、専門医の巡回診療等による医療従事者の確保、遠隔医療の推進、オンライン研修体制の充実に取り組むとともに、遠隔医療を行う医療従事者の育成・スキルアップなど遠隔医療を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島へき地等における医療提供体制を確保するため、沖縄県病院事業局が実施する診療所医師配置、専門医の派遣受入、指導医招聘、研修派遣へ補助を行う。	県	離島・へき地の県立中核病院及び県立離島診療所確保事業等への支援		
		県立北部・宮古・八重山病院が確保した専門医師数(累計)		
		19人	19人(38人)	19人(57人)
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課	【 098-866-2111 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	県立病院医師確保支援事業			予算事業名	県立病院医師確保支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	467,435	501,931	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	622,929
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県病院事業局が実施する診療所医師配置、専門医の派遣受入、指導医招聘、研修派遣へ補助を行った。				沖縄県病院事業局が実施する診療所医師配置、専門医の派遣受入、指導医招聘、研修派遣へ補助を行う。		

活動指標名	県立北部・宮古・八重山病院が確保した専門医師数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		30人	17人	19人	19人	100.0%	順調

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>県立北部・宮古・八重山病院で専門医19名を確保したことにより、当該地域の医療提供体制の確保に繋がった。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師確保計画を踏まえ、県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科並びに9へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数及び必要医師数確保に向けた施策について、病院事業局等の関係者と議論を行う。</li> <li>・ 県立病院関係者や県外大学病院関係者等とのネットワークを活用し、指導医招聘を様々な診療科に拡げることでさらなる研修環境の充実に取り組む。</li> <li>・ スキルアップ研修派遣においては県立病院関係者間の調整を綿密に行い理解を求めることで、派遣実績の向上に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要医師数については県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科及び9へき地診療所の状況を踏まえ、病院事業局と議論を重ねた上で確保に取り組んでいる。</li> <li>・ 指導医招聘においては、県内外大学病院等の7機関から6診療科において延べ9回の指導医を招聘し研修環境の充実が図られた。</li> <li>・ スキルアップ研修派遣においては事前調整を綿密に行い、研修に派遣することができた。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	離島へき地等で勤務する医師を養成するための指導医の確保が急務となっている。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	働き方改革関連法による労働基準法の改正により、医療従事者についても令和6年度から時間外労働上限規制が適用される。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	離島へき地等で勤務する医師の養成のため、県立中部病院・南部医療センター・こども医療センターにおいて、指導医を確保できる体制の強化について検討を行う。
⑥ 変化に対応した取組の改善	医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数について検討を行う必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における安定した医療提供体制の確保
主な取組	へき地診療所施設整備等補助事業費		対応する成果指標	医療施設従事医師数(離島)
施策の方向	・離島・へき地における安定した医療提供体制を確保するため、診療所等の施設整備、専門医の巡回診療等による医療従事者の確保、遠隔医療の推進、オンライン研修体制の充実に取り組むとともに、遠隔医療を行う医療従事者の育成・スキルアップなど遠隔医療を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
離島・へき地における安定的な医療の確保を図るため、へき地診療所の施設整備等を行う市町村に対し補助を行う。	県,市町村	へき地診療所の施設整備等補助に向けた取組			
		施設整備等補助を行うへき地診療所(累計)			
		4診療所	4診療所(8診療所)	4診療所(12診療所)	
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【 098-866-2111 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	へき地診療所施設整備等補助事業費				予算事業名	へき地診療所施設整備等補助事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
一括交付金 (ハード)	補助	22,398			主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容					一括交付金 (ハード)	補助	0	
市町村からの要望がなかったため、事業実施しなかった。					令和5年度活動計画			
					市町村からの要望なし。施設整備等の整備は各市町村の計画に依るため、要望がないことによる影響はない。			
予算事業名	へき地診療所設備整備補助事業				予算事業名	へき地診療所設備整備補助事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
各省計上	補助	18,762	12,668		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容					各省計上	補助	3,736	
2診療所に対し設備整備費補助を行った。					令和5年度活動計画			
					1診療所に対し設備整備費補助を行う。			
活動指標名	施設整備等補助を行うへき地診療所 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	4診療所	3診療所	2診療所	4診療所	50.0%	大幅遅れ	毎年、診療所を運営している市町村に対して、診療所の施設整備等補助を行う予定及び当該事業の活用の有無を照会し、要望がある市町村に対し補助を行っている。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度は2診療所に対し設備整備費補助を行った。                      補助を行うべき地診療所の数は市町村の施設整備等の整備計画に依るところがあり、令和4年度は目標値の半分に留まっているが、補助を希望する市町村に対しては要望額どおりの補助を実施できた。</p>	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>計画通りに事業遂行できるよう県と市町村、沖縄県歯科医師会等の関係機関と調整会議を定期的で開催し、入札状況や施工計画の進捗管理の徹底を図る。また、原材料高の影響による入札不調や天候の悪化等による資材搬送の遅れに伴い、工事の長期化が懸念される場合には、市町村と連携し、施工計画の見直しを行う。</p>	<p>令和4年度は市町村から施設整備の要望がなかったため取組実施がなかった。設備整備は要望する大宜味村に対し補助を行い、計画通り年度内に設備整備を完了した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	補助を行う場合、対象施設が離島やへき地にあるため、資材確保や医療設備の納品に時間を要し、計画通り事業が完了できない可能性がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	施設整備について、過去の離島、へき地地域における公共工事や医療機器購入の前例を確認し、工期や納期に留意しながら計画通り事業が遂行できるよう担当者間の緊密な連携を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における安定した医療提供体制の確保
主な取組	離島医療体制確保支援事業（専門医派遣巡回診療支援事業）		対応する成果指標	医療施設従事医師数（離島）
施策の方向	・離島・へき地における安定した医療提供体制を確保するため、診療所等の施設整備、専門医の巡回診療等による医療従事者の確保、遠隔医療の推進、オンライン研修体制の充実に取り組むとともに、遠隔医療を行う医療従事者の育成・スキルアップなど遠隔医療を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるようにするため、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。	県	眼科、耳鼻科等の専門医による巡回診療			
		巡回診療回数(累計)			
		75回	78回(153回)	80回(233回)	
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【 098-866-2111 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	専門医派遣巡回診療支援事業			予算事業名	専門医派遣巡回診療支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	21,510	26,722	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	11,903
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
5 離島診療所において、専門医による巡回診療を74回実施し、延べ911人の診療を実施した。				5 離島診療所において、専門医による巡回診療を45回実施する。		

活動指標名	巡回診療回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		53回	67回	74回	75回	98.7%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

定期航路及び航空路を利用した巡回診療の実施により、巡回診療回数及び受診者数は概ね順調に推移している。また、市町村のニーズの的確な把握、派遣元医療機関の拡充に取り組んだ結果、離島における専門診療科の受診機会が確保され、医療格差の是正、定住条件の整備が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
定期的な巡回診療を実施・継続するため、必要な専門診療科のニーズを把握し、地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施する。	市町村へ巡回診療のニーズを確認し、要望に応じた適切な巡回診療を実施した。



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	巡回診療のニーズはあるものの、診療を実施する地元診療所や巡回派遣医師との調整が上手くいかず、巡回診療が実施できないことがある。	② 連携の強化・改善	定期的な巡回診療を実施・継続するため、必要な専門診療科のニーズ確認、巡回派遣医師の確保、派遣スケジュールの綿密な調整を行い、より多くの離島住民の受診機会の確保を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における安定した医療提供体制の確保
主な取組	離島巡回診療ヘリ等運営事業		対応する成果指標	医療施設従事医師数(離島)
施策の方向	・離島・へき地における安定した医療提供体制を確保するため、診療所等の施設整備、専門医の巡回診療等による医療従事者の確保、遠隔医療の推進、オンライン研修体制の充実に取り組むとともに、遠隔医療を行う医療従事者の育成・スキルアップなど遠隔医療を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるようにするため、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。	県	眼科、耳鼻科等の専門医による巡回診療			
		巡回診療回数(累計)			
		30回	30回(60回)	30回(90回)	
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【 098-866-2111 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	離島巡回診療ヘリ等運営事業			予算事業名	離島巡回診療ヘリ等運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	委託	17,114	28,224	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	委託	29,078
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
4 離島診療所において、専門医による巡回診療を22回実施し、延べ281人の診療を実施した。				5 離島診療所において、専門医による巡回診療を26回実施する。		

活動指標名	巡回診療回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		17回	16回	22回	30回	73.3%	やや遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ヘリを利用した巡回診療の実施であり、天候不良による巡回中止が度々生じたため、巡回診療回数の進捗状況はやや遅れている。また、市町村のニーズの的確な把握、派遣元医療機関の拡充に取り組んだ結果、離島における専門診療科の受診機会が確保され、医療格差の是正、定住条件の整備が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
定期的な巡回診療を実施・継続するため、必要な専門診療科のニーズを把握し、地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施する。	市町村へ巡回診療のニーズを確認し、要望に応じた適切な巡回診療を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	巡回診療のニーズはあるものの、診療を実施する地元診療所や巡回派遣医師との調整が上手くいかず、巡回診療が実施できないことがある。	② 連携の強化・改善	定期的な巡回診療を実施・継続するため、必要な専門診療科のニーズ確認、巡回派遣医師の確保、派遣スケジュールの綿密な調整を行い、より多くの離島住民の受診機会の確保を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における安定した医療提供体制の確保
主な取組	県立病院専攻医養成事業		対応する成果指標	医療施設従事医師数(離島)
施策の方向	・離島・へき地における安定した医療提供体制を確保するため、診療所等の施設整備、専門医の巡回診療等による医療従事者の確保、遠隔医療の推進、オンライン研修体制の充実に取り組むとともに、遠隔医療を行う医療従事者の育成・スキルアップなど遠隔医療を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県立病院における専門研修で専攻医を養成し、養成後は離島へき地及び本島北部の病院や診療所へ派遣することにより、当該地域の医師不足解消を図る。	県	県立病院で専攻医を養成し、医師確保が難しい離島・へき地地域へ派遣		
		専攻医派遣数(累計)		
		11人	11人(22人)	11人(33人)
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課	【 098-866-2111 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名 県立病院専攻医養成事業 (単独事業)					予算事業名 県立病院専攻医養成事業 (単独事業)			
主な財源		実施方法		R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度	
県単等		委託		36,933	7,859		主な財源 実施方法 当初予算額	
県単等		委託		36,933	7,859		県単等 委託 44,820	
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
県立病院における専門研修で専攻医を養成した。					県立病院における専門研修で専攻医を養成する。			
予算事業名 県立病院専攻医養成事業 (交付金事業)					予算事業名 県立病院専攻医養成事業 (交付金事業)			
主な財源		実施方法		R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度	
一括交付金 (ソフト)		委託		226,542	249,189		主な財源 実施方法 当初予算額	
一括交付金 (ソフト)		委託		226,542	249,189		一括交付金 (ソフト) 委託 313,981	
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
県立病院における専門研修で専攻医を養成した。					県立病院における専門研修で専攻医を養成する。			
活動指標名		専攻医派遣数 (累計)		R4年度			進捗状況	
		R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B	活動概要	
実績値		22人	15人	12人	11人	100.0%	令和4年度は、医師の確保が困難な離島へき地等の病院や診療所へ、本事業で養成した医師12名を派遣した。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度は、令和3年度までに養成を終えた医師12名が医師の確保が困難な離島へき地及び本島北部の病院や診療所に派遣を行い、当該地域の医療提供体制の確保に繋がった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き学会や研修会への参加機会の増加や指導医の招聘等により、臨床研修環境の向上に努めている事業と連携することで、専攻医の増加を図り、離島・へき地への医師派遣に取り組んでいく。	本事業における医師の養成を行いつつ、他事業にて学会や研修会への参加機会の増加や指導医の招聘を図る等、専門研修の充実化を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	平成30年度から開始された新専門医制度では、症例数の多い都市部や大学病院に専攻医が集中する傾向があるため、影響を注視する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	専門研修プログラムのPRや発信方法、リクルート方法などを検討し、採用人数の増加を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における救急医療体制の強化
主な取組	ヘリコプター等添乗医師等確保事業		対応する成果指標	医療施設従事医師数(離島)
施策の方向	・離島・へき地における救急医療体制の強化を図るため、救急医療用ヘリコプターの活用など出産や救急救命等における急患搬送体制の構築に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
急患空輸を実施する自衛隊、海上保安本部のヘリ等航空機への医師等添乗体制を確保し、離島からの急患の救命率の向上、後遺症の軽減を図るため、添乗医師等派遣協力病院の運営費等を補助する。	県,市町村,病院	当番病院への報償費・災害補償費、添乗協力病院への運営費補助			
		ヘリコプター等添乗協力病院数(内訳)			
		13病院	13病院(継続13病院)	13病院(継続13病院)	
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【 098-866-2111 】	関連URL	-



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	ヘリコプター等添乗医師等確保事業(単独事業)				予算事業名	ヘリコプター等添乗医師等確保事業(単独事業)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
県単等	補助	6,174	825		主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容					県単等	補助	904	
急患空輸ヘリ等の添乗医師等を安定的に確保するため、添乗医師等の災害補償費を補助した。					令和5年度活動計画			
急患空輸ヘリ等の添乗医師等を安定的に確保するため、添乗医師等の災害補償費を補助する。					予算事業名	ヘリコプター等搬送体制確保事業		
予算事業名	ヘリコプター等搬送体制確保事業				R5年度			
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	32,850	44,140		一括交付金 (ソフト)	補助	48,257	
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
・添乗協力病院(12病院)へ運営費補助、ヘリ等添乗医師等報償費、ヘリ等内医療行為に必要な備品の購入費及び保守・修繕費を補助を行った。					・添乗協力病院(12病院)へ運営費の補助、ヘリ等添乗医師等報償費、ヘリ等内医療行為に必要な備品の購入費及び保守・修繕費等の補助を行う。			
活動指標名	ヘリコプター等添乗協力病院数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	12病院	12病院	12病院	13病院	92.3%	順調	令和4年度搬送実績は227件(自衛隊147件、海上保安庁80件)であり、ヘリ等への医師等添乗率は100%であった。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>急患空輸を実施する自衛隊、海上保安本部のヘリ等航空機への医師等の当番添乗体制を確保することにより、急患空輸を安定的に実施することができた。令和4年度は、227件（自衛隊147件、海上保安庁80件）の搬送を実施し、離島へき地における救急医療に貢献した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>添乗当番病院の協力を得られていない救急病院について、参画できない理由等を検証し、参画に向けた支援策等を検討する。</li> <li>急患搬送の事後検証の方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘリコプター等添乗医師等確保事業運営協議会を実施し、協力病院の事情等を踏まえ急患搬送の当番日の見直しを図った。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>添乗当番病院は、曜日ごとの輪番制であり、固定の曜日を毎週担当する病院と隔週で担当する病院がある。</p> <p>添乗当番病院は、添乗医師等を確保するために当番日の人員配置を行うなど負担が大きい。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>各添乗当番病院の負担を軽減するため、協力を得られていない救急病院に対して添乗当番への参画依頼を行う。</p> <p>ヘリコプター等による急患搬送の意義の啓発と、運営費補助等の支援策について情報提供を行う。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島・へき地における救急医療体制の強化
主な取組	救急医療用ヘリコプター活用事業		対応する成果指標	医療施設従事医師数(離島)
施策の方向	・離島・へき地における救急医療体制の強化を図るため、救急医療用ヘリコプターの活用など出産や救急救命等における急患搬送体制の構築に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
救急医療用ヘリコプターを安定的に継続して運航することで、傷病者の救命率の向上、後遺症の軽減に寄与し、離島・へき地を含む本県の救急医療体制の強化を図る。	県,病院	救急医療用ヘリコプター(ドクターヘリ)の運営経費に対する補助			
		ドクターヘリ要請に対する応需率(時間外要請、天候不良、重複要請等による不応需除く)			
		100%	100%	100%	
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【 098-866-2111 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/iryo/docheli.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/iryo/docheli.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	救急医療用ヘリコプター活用事業			予算事業名	救急医療用ヘリコプター活用事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	補助	277,748	278,141	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	補助	333,272
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
ドクターヘリを運航する浦添総合病院に対し、運営費の補助を行った。				ドクターヘリを運航する浦添総合病院に対し、運営費の補助を行う。		

活動指標名	ドクターヘリ要請に対する応需率 (時間外要請、天候不良、重複要請等による不応需除く)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	99.7%	100%	99.7%	順調	救急医療用ヘリコプター(ドクターヘリ)の運営経費に対する補助

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度は機材不具合に不応需があったため、時間外要請、天候不良、重複要請等の除く応需率は99.7%であった。 ドクターヘリの運営経費に対する補助を行うことで安定継続的な運航が可能となっており、これにより傷病者への迅速な初期救急医療措置が可能となり、救命率向上及び後遺症低減に寄与した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、県単独補助金による補助を実施する。</p>	<p>・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、厚生労働省補助金及び県単独補助金による補助を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	<p>・地理的特性等の沖縄特有の事情（燃料費が割高、洋上飛行が多く付属品のフロート等の装備品が必須、それに伴う減価償却費の負担増等）により全国に比べ割高となっている。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	<p>・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、県単独補助金による補助を実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-ウ	公平で良質な医療・福祉サービスの確保	施策	①地域の実情に応じた医療提供体制の確保と遠隔医療の推進
			施策の小項目名	○離島のがん患者、難病患者、妊産婦等の島外受診に係る負担軽減
主な取組	離島医療体制確保支援事業（離島患者等通院費支援事業）		対応する成果指標	医療施設従事医師数（離島）
施策の方向	・離島のがん患者、難病患者、妊産婦等が島外の医療機関への受診に要する交通費や宿泊費の負担軽減に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島のがん患者、難病患者、妊産婦等の島外の医療機関への通院に係る経済的負担を軽減することを目的として、島外への通院に要する船舶運賃、航空運賃及び宿泊費を助成する市町村に対して、その助成に要する経費の一部を県が補助する。	県,市町村	島外医療施設への通院費を助成する18市町村に対する補助		
		支援を受ける市町村数(内訳)		
		15市町村	15市町村(継続15市町村)	15市町村(継続15市町村)
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課	【 098-866-2111 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/iryo/iryo/ritokanjashien.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/iryo/iryo/ritokanjashien.html</a> □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	離島患者等通院費支援事業			予算事業名	離島患者等通院費支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	17,916	35,170	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	52,188
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
15市町村が本事業を活用した。				17市町村が本事業を活用する予定。		

活動指標名	支援を受ける市町村数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	15市町村	15市町村	15市町村	15市町村	100.0%	順調	離島患者の島外医療施設への通院に要する経済的負担を軽減し適切な医療を受ける機会を確保するため、有人離島を有する18市町村へ本事業の周知を図った結果、15市町村が本事業を活用し住民の負担軽減を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

対象18市町村中15市町村が本事業を活用することにより、離島患者等が島外へ通院する際の経済的負担を軽減し、良質かつ適切な医療を受ける機会を確保した。なお、残り3市町村については、住民のニーズがないか少額であるため県の補助事業を活用していない。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民に最も身近な市町村の理解を深めるため、市町村との意見交換の場を継続して確保する。</li> <li>事業の適正な執行管理に努めるとともに、宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動等を踏まえた適切な補助を行うことで、市町村の負担軽減を図り、離島患者等に対する助成の拡充を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年9月に市町村説明会を開催し、補助対象者の拡大に関する意見交換等を行い、市町村のニーズの把握に努めた。</li> <li>今年度から年度末の実績報告の他、事情実施報告を年2回実施することで、補助申請漏れを防止するとともに、審査業務を分散させることで事業の適正な執行を図った。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換等を定期的に行う必要がある。	② 連携の強化・改善	地域住民に最も身近な市町村の理解を深めるため、市町村との意見交換の場を継続して確保する。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	本事業の促進に伴う離島・へき地の医療提供体制の変化や宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動状況等を把握し、市町村及び離島患者等のニーズを踏まえ、事業の適性化及び柔軟かつ効率的な対応を行う。	⑥ 変化に対応した取組の改善	事業の適正な執行管理に努めるとともに、宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動等を踏まえた適切な補助を行うことで、市町村の負担軽減を図り、離島患者等に対する助成の拡充を促進する。